



日本の  
ひなた  
宮崎県

中部農林だより

No. 42(令和5年6月)  
宮崎県中部農林振興局  
宮崎市橘通東1-9-10  
(電話)0985-26-7278

# 元気の芽

一番茶の収穫が行われました!!



こちらが中部管内のお茶の収穫風景です!!



現在、お茶の収穫は手摘みではなく、このような乗用型摘採機という機械で行われています。お茶の収穫は茶樹の栽培における最終作業であり、茶葉の収量とお茶の品質に直接影響するため、もっとも注意を要する作業です。

写真：上・一番茶摘採前茶園 場所：高岡町 下・乗用型摘採機（摘採作業中）場所：清武町

宮崎県では約1,230haでお茶が栽培されており、生産量は全国第4位です。中部管内は5つの地区（生目、高岡、清武、田野、国富）の約114haで栽培され、ほとんどが煎茶に加工されています。

お茶の収穫は一番茶（4～5月）、二番茶（5～6月）、三番茶（7月）と続き、秋の番茶までに3～4回行われます。特に、「新茶」として出荷される一番茶は、冬の間、旨味成分であるテアニンをしっかり蓄え、おいしいお茶となりお茶の経営にとっても大変重要です。

近年、農薬・化学肥料を一切使用しない有機茶（有機JAS認証）が注目されており、お茶本来の旨味や自然環境にやさしいことが特徴で、ヨーロッパやアジアへの輸出が増えています。管内の高岡町一里山では、グループで有機茶の生産と輸出の取組が行われています。

【農業経営課】



## ベビーハンズについて

みなさん！ベビーハンズを知っていますか？愛らしい小ぶりの葉が赤ちゃんの手のように見えることから名付けられたベビーハンズですが、花ではなく葉っぱを利用したグリーンの花材として、アレンジ、花束、生け込みと幅広い用途があります。葉っぱのグリーンが周りの花々の雰囲気を変えてくれる知られざる貴重な存在です。なんと宮崎県は、北海道に次ぐ全国第2位の生産量を誇ります！

以前は北海道のみで生産されていましたが、マーケット調査で北海道産の端境期に需要があることがわかり、県とJAグループとの連携により安定した収益が見込まれる新規品目として平成24年度に県内で初めて中部地域で試験的に導入され、その後各地域で栽培が開始されました。中部地域では平成26年3月にJA宮崎中央で研究会が発足し、当初は、品質や収量が安定しませんでした。講習会や目揃え会等の実施を通じて改善が図られ、複合経営の1品目として農業者の経営安定に寄与しています。  
[農業経営課]

原産地：日本（本州、伊豆）

科名：バラ科、キイチゴ属カジイチゴ

特徴：木本性。本州の温暖な地域に自生しており、繁殖力が旺盛で、根から新しい芽が出て広がり、年々株が成長する。

品種「ベビーハンズ」の由来

北海道の生産者が在来のカジイチゴから直立で小葉の枝変わりを選抜し、「ベビーハンズ」として2006年に品種登録。



ベビーハンズ



フラワーアレンジメント

## 広域流通



## 祝開通！ 東九州自動車道（清武南IC～日南北郷IC）



令和5年3月25日（土）、さくらアリーナ（日南市北郷町）において、宮崎河川国道事務所、県、宮崎市、日南市の主催による東九州自動車道（清武南IC～日南北郷IC）開通式が執り行われました。

この開通で、東九州自動車道は、福岡県北九州市から日南市まで南北に一本の高速道路で結ばれ、災害時の人命救助や救急物資の輸送、アクセス性向上による観光・産業振興など様々な効果が期待されます。  
[総務課]



清武南～日南北郷  
17.8km R5.3.25開通



式典の様子

## 愛鳥作品コンクールを実施しました



県では、野鳥保護の推進と愛鳥思想の普及啓発を図るため、愛鳥作品コンクールを毎年実施しています。今年度は、管内の小・中・高26校からポスター46点、書34点が出品され、このうち、6月の地区審査で選定した15作品を県の審査会に推薦しました。

今回出品された中部管内の全作品は、7月14日（金）～28日（金）に宮崎県総合博物館に展示します。また、県の審査会に臨んだ県内各地区の代表作品は、8月1日（火）～8月15日（火）まで大淀川学習館で展示される予定です。

### 中部地区 小学校 ポスターの部



金賞

広瀬北小3年  
鈴木彩月さん



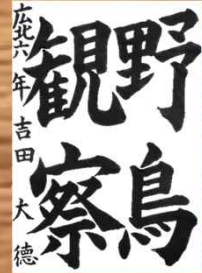
銀賞

広瀬北小5年  
堀 花咲さん



広瀬北小1年  
藤山 湊さん

### 中部地区 小学校 書の部



金賞

広瀬北小6年  
吉田大徳さん



銀賞

広瀬西小5年  
佐藤華音さん



住吉小4年  
長友美空さん

### 中部地区 中学校 ポスターの部



金賞

綾中3年  
坂本彩実さん



銀賞

大淀中2年  
小野絢奏さん



大淀中2年  
山田彩友美さん

### 中部地区 中学校 書の部



金賞

日向学院中2年  
甲斐櫻華さん



銀賞

本郷中1年  
松本晃明さん



久峰中3年  
木原真央さん

### 中部地区 高等学校 ポスターの部



金賞

佐土原高校2年  
原田エリナさん



銀賞

佐土原高校2年  
山本優衣さん



鵬翔高校1年  
山野太雅さん

受賞者の皆様、  
おめでとうございます！！

[林務課]

# 「森林経営管理制度」って知っていますか？



「森林経営管理制度」は、森林所有者からの委託を受け、手入れが行き届いていない森林を市町村もしくは林業経営者が管理する制度です。平成31年から始まった制度ですが、中部地域でもその取組みが進んできています。

## ◆中部農林の活動 ～伴走型トレーニングの実践～

この制度を進める主人公は市町村になりますが、制度を進めるにあたって重要な“森林資源の把握”や“間伐等を行うための事業費の積算”に不安を持っており、中部地区の課題となっていました。

そこで、中部農林振興局では森林資源の把握や事業費積算に係る知識と技術を習得してもらうため、市町職員向けに研修(トレーニング)を行いました。



ドローン研修

現地の状況を把握するため、ドローンによる空撮研修を行いました。

ドローンで撮影した画像は、林業技術センター(美郷町)の協力のもと、オルソ画像を作成しました。

※オルソ画像…パソコン上で森林の状況を確認できたり、距離や面積が算出できる画像



プロット調査研修



実際の森林に入り、標準的な場所(プロット)を設定した後、木の本数を数え、直径や樹高を計測しました。これにより、森林の資源量を把握でき、どのような施業を行うかの判断基準になります。



積算研修

プロット調査で得られた結果をもとに、間伐を行う際の事業費積算を行いました。

中部農林としては、制度を活用した森林の整備が一層進むよう、引き続き市町のサポートを行っていきます。



森林の多面的な機能(“水を蓄える力”や“土砂を保持する力”、“CO2削減”など)を發揮するために、森林の手入れを進めていくことはとても重要です。

**「植える→育てる→伐る→利用する」**という循環型林業を目指し、手入れが行き届いた森林を次の世代へ繋げていきましょう！！

[林務課]

中部地方連絡協議会（中部地連協）は、中部地区にある県の出先機関の連絡を密にし、地方行政の総合的運営を図るために設置された組織で、37の機関から構成されています。今回は、「宮崎県税・総務事務所」と「宮崎県消費生活センター」を御紹介します。

### 宮崎県税・総務事務所

#### 租税教室について

次の世代を担う児童・生徒に、納税者として、社会や国・県・市町村の在り方を主体的に考えるという自覚を育てることを目的として、また、税に対する理解が県民各層に広がっていくことを願って、当事務所では、宮崎地区租税教育推進協議会の一員として、「租税教室」を毎年開催しております。

昨年度は、清武小学校と瓜生野小学校のそれぞれ6年生を対象とした教室を開催しました。

瓜生野小学校では、6年生35名に授業を受けていただきましたが、参加した児童からは「税金によって自分たちの生活が成り立っていることがよく分かりました」などの感想が聞かれました。

租税教育推進協議会では、「税の役割」や「税の仕組み」などについて、小学生・中学生・高等学校向け、大学生・社会人向けの租税教室を、ご要望に応じて、無償で開催しております。

また、租税教育用DVDなどの視聴覚教材の無償貸出しも行っております。

お気軽にご利用ください。

#### 【問い合わせ先】

宮崎地区租税教育推進協議会  
(宮崎税務署内)

0985-29-2151 (代表)



瓜生野小学校での租税教室



租税教育の教材（小学生用）

## 宮崎県消費生活センター

県の消費生活センターは宮崎市、都城市、延岡市の3か所があり、宮崎市のセンターは、NHK宮崎放送局の南隣にある「宮崎県生活情報センター」の3階にあります。

### センターの仕事は？

消費生活センターでは相談と啓発の業務を行っており、相談では、専門の消費生活相談員が消費者と事業者との間に生じた商品やサービスに関する苦情等について、公正な立場で相談を受けております。

啓発では、消費生活に関する様々な情報をメディアやSNS等により発信・提供を行っており、若者や高齢者を中心に出席講座を開催するなど消費者の自立を支援するための消費者教育にも取り組んでいます。



### 啓発キャラクター「アリンコ」



アリンコ

消費生活センターのシンボルキャラクターとして、平成22年に啓発キャラクターが誕生しました。

毎日、真面目に一生懸命働いている私たち消費者代表のアリンコ、そのアリンコをだまして、私腹を肥やそうとする悪質業者のアリジーゴクです。CMやパンフレット、啓発グッズなどあらゆるところに使われているので一度は見たことある、という人も多いのではないのでしょうか。



アリジーゴク

### 消費生活相談の状況

令和4年度に県内で受けた消費生活に係る相談は約1万件でした。苦情相談の年代別では、70歳代以上が最も多く、「宅配不在通知を騙る不審メール」や「情報サイト料金の不当請求等」に関する相談が多くなっています。

また、「健康食品」や「化粧品」の定期購入・解約時のトラブル等に関する相談も、年代を問わず、多く寄せられています。



消費トラブルはとっても身近なものです。「こんなのアリ?」と思ったら迷わず消費生活センターに相談してください!

最寄りの相談窓口につながります

消費者ホットライン



188

